

第9回 産学人材支援プログラム
「産と学生との集いー学生のための精密工学先端技術講演会」
学生参加者募集

マイクロ・ナノテクノロジーの進歩とともに、精密工学分野における技術は急激に進歩しています。この講演会では、精密工学分野に関連する企業より、工作機械、計測、制御、システムに関する先端的な研究開発について、大学生と大学院生にわかりやすく紹介していただきます。今年度は、コロナ禍であることから、**オンデマンドで週末の視聴や何度でも視聴できるオンラインでの講演会**といたしました。講演会後に個別に詳細な質問ができるように学生の皆様と企業と個別の技術質問コーナーも設けました。大学生や大学院生にとって、企業における実際の研究開発の話や現場の生の声を聞くことにより、将来を見据え、卒業研究や修士・博士課程における研究に向き合うための良いきっかけになると思います。会員、非会員は問いませんので奮ってご参加ください。

主催：公益社団法人精密工学会

※参加申込はこちら→



開催期間：令和4年1月31日（月）10:00～2月7日（月）19:00

開催方法：クラウドサービス Box による Web 開催

※コロナ禍の影響で対面方式からオンライン開催へ変更させていただくことになりました。

視聴方法：Box 内の指定フォルダへアクセスすることで、オンデマンド形式で各企業の講演の閲覧が可能になります。

*ただし、Box 利用の際に、無料のアカウント登録が必要となります。

*参加申込時に登録いただいたメールアドレスに、フォルダの URL 情報を追ってご連絡いたします。

各講演企業資料ダウンロード方法：

*Box 内の指定フォルダへアクセスすることで、ダウンロード可能になります。

技術質問コーナー：オンラインでの開催を予定しております。アンケートにて2月9日までに技術質問コーナーに参加したい企業3社程度を選択いただけます。参加希望の企業より技術質問コーナーとして、「工作系の業界で活躍している技術者はどのようなスキルや知識を持っているのか」、「機械工学を専攻している人物に対し、企業が求める人材とは」など、**普段できない質問のチャンスが企業様に対して可能です**。後日、参加希望の企業より指定日時が送られて参りますので、各自ご参加下さい。ただし、企業様のご都合により、参加人数が限定される場合がございますのでお早めにアンケートへのご回答をお願いいたします。

総合司会：榎谷 和義(東海大学)

※各企業の講演時間は15分を目安としております。

講演タイトル	
挨拶	高橋事業部会長(東京大学)
「次世代のものづくり工場「インテリジェンスファクトリー」の実現に向けて」	(株)山本金属製作所
「製造業における XR 活用最前線」	ラティス・テクノロジー (株)
「工作機械と計測技術を融合させた DMG MORI の新しいソリューション」	DMG 森精機(株)
「MAZAK のハイブリッド加工技術」	ヤマザキマザック(株)
「iMQL®システムによる切削技術」	ホーコス (株)
「焦点距離可変レンズ(TAGLENS)の3D形状データ取得への応用」	(株)ミットヨ
「高精度・高能率加工を実現する知能化技術」	オークマ(株)
「新たな価値の創出を目指して ー三井精機の微細加工への取組みー」	三井精機工業(株)
「最新の技術について」	(株)牧野フライス製作所
「電子部品実装ロボットの高速位置決め技術」	(株)FUJI
「パウダ DED 方式金属 3D プリンタ LAMDA の特徴について」	日本電産マシンツール (株)
「コロナ禍における EMO への出展と先端技術の動向」	芝浦機械 (株)
「ジェイテクトにおける加工技術の紹介」	(株)ジェイテクト

・申込み資格：学生が対象(会員、非会員は不問)
 ・参加費(学生)：500円(税込) ※講演会開催日までに支払下さい。(事務局より振込用紙を送付いたします)
 ※講演スケジュールやタイトル等は予告なく変更になる場合があります。最新の情報は Web ページでご確認下さい。

・申込み期限：令和4年1月17日(月)
 ・申込み方法：学会ホームページ・イベント情報内「学生のための精密工学先端技術講演会」ページの「**学生参加申込フォーム**」よりお申込み下さい。
 公益社団法人精密工学会 (URL : <https://www.jspe.or.jp/>)